



福島医発第1856号（地）

平成26年10月 7日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

（公 印 省 略）

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の
実施及び監視体制の強化について

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査が、本年度も渡り鳥の飛来が始まる10月より「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」に基づき実施される旨、別添のとおり福岡県環境部自然環境課より保健医療介護部を通じて情報提供がありました。

また、韓国の家禽農場において高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことに伴い、環境省において現在実施している野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルが「対応レベル2」に引き上げられたため、福岡県高病原性鳥インフルエンザ（野鳥関係）対応技術マニュアルに基づき「対応レベル2」として、死亡野鳥等調査の回収基準が強化される旨連絡がありましたので、併せてお知らせいたします。

つきましては、貴会におかれましても本件につきましてご了解いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 田中泰之
会長 廣瀬真恵

26保衛第1916号

平成26年9月30日

公益社団法人福岡県医師会長
公益社団法人福岡県獣医師会長

殿

福岡県保健医療介護部長
(保健衛生課感染症係)

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の
実施及び監視体制の強化について

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このことについて、福岡県環境部自然環境課長から、別添（写）のとおり通知がありましたのでお知らせします。

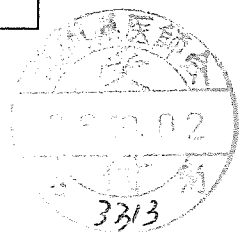
(担当)

福岡県保健医療介護部

保健衛生課感染症係 中山

TEL:092-643-3268

FAX:092-643-3282



「公印省略」

26自第1055号

平成26年9月26日

保健医療介護部保健衛生課長 殿
(感染症係)

環境部自然環境課長
(野生生物係)

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の実施
及び監視体制の強化について

このことについて、別添の環境省通知（平成26年9月4日付 環自野発第1409041号自然環境局野生生物課長通知）のとおり、本年度も野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査を実施することとなりました。

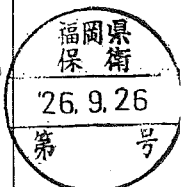
つきましては、「福岡県高病原性鳥インフルエンザ（野鳥関係）対応技術マニュアル」に基づき対応いたしますので、御協力をお願いします。

また、韓国の家禽農場において高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことに伴い、環境省から野鳥サーベイランスの全国レベルを「対応レベル2」に変更する旨通知があったため、今後、環境省から対応レベルの変更が通知されるまでの間、福岡県高病原性鳥インフルエンザ（野鳥関係）対応技術マニュアルに基づき、「対応レベル2」として、死亡野鳥等調査の回収基準を強化しますので、参考にお知らせいたします。

なお、今シーズンからトモエガモがリスク種2に追加されております。

＜問い合わせ先＞

福岡県環境部自然環境課
野生生物係担当：河村・大石
TEL：092-643-3367
FAX：092-643-3357



高病原性鳥インフルエンザ 死亡野鳥等調査基準

平成26-27年シーズン 平成26年9月25日現在

発生状況と対応レベル		リスク種 1	リスク種 2	リスク種 3	その他の種
対応 レベル1	通常時	1羽以上	3羽以上	10羽以上	10羽以上
	野鳥監視重点区域	1羽以上	1羽以上	3羽以上	3羽以上
対応 レベル2	国内単発発生時 (近隣国発生時)	1羽以上	1羽以上	10羽以上	10羽以上
	野鳥監視重点区域	1羽以上	1羽以上	3羽以上	3羽以上
対応 レベル3	国内複数箇所発生時 (近隣国発生時)	1羽以上	1羽以上	5羽以上	10羽以上
	野鳥監視重点区域	1羽以上	1羽以上	3羽以上	3羽以上
鳥種		(カモ目カモ科) シジュウカラガン マガン ヒシクイ コブハクチョウ オオハクチョウ コハクチョウ オシドリ キンクロハジロ (効目効科) オジロワシ オオワシ オオタカ ハイタカ ノスリ サシバ クマタカ チュウヒ (効目ハヤブサ科) ハヤブサ チョウゲンボウ ※重度の神経症状が 観察された水鳥類	(カイツブリ目カイツブリ科) カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ (カモ目カモ科) マガモ オナガガモ トモエガモ ホシハジロ スズガモ (ツル目ツル科) タンチョウ ナベヅル マナヅル (ツル目クイナ科) バン オオバン (チドリ目カモメ科) ユリカモメ (フクロ目フクロ科) ワシミミズク コノハズク フクロウ	(ペリカン目ウ科) カワウ (コウトリ目サギ科) ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ等全種 * 以下は、リスク種 1, 2以外全種 (カモ目カモ科) カルガモ コガモ ヒドリガモ等 (チドリ目カモメ科) セグロカモメ ウミネコ等 (効目) トビ ミサゴ等 (フクロ目) コミミズク等	リスク種1～3以外 の鳥種すべて

- ・ 対応レベルは、高病原性鳥インフルエンザの発生状況に応じて、環境省が設定。
- ・ 環境省は、高病原性鳥インフルエンザの感染が見込まれた段階で発生地周辺（半径10km以内を基本）を野鳥監視重点区域に指定する。県では、区域内の野鳥の監視を強化。

※ 基準に該当しないもの、また、基準に該当していても次の場合は検査を行いません。
 素手で触らず、ビニール袋に入れて、燃えるごみとして処分してください。

- ・ 死因が明らかに外傷である場合（ガラスへの衝突、動物に襲われた等）
- ・ 死後日数が経過して明らかに腐敗・変敗している場合

事 務 連 絡

平成26年 9月26日

各都道府県鳥獣行政担当部局長 殿

環境省自然環境局野生生物課

鳥獣保護業務室長

韓国での高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型）の発生に伴う野鳥
サーベイランスの対応レベルの引き上げについて

今般、韓国当局から国際獣疫事務局（OIE）を通じ、韓国全羅南道靈岩（ヨンアム）郡の肉用あひる農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型）の発生が確認された旨の通報がありました。

このことを踏まえ、国内ではこれから本格的な冬鳥の飛来シーズンを迎えることから、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」（以下マニュアル）に基づき、現在実施している野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを「対応レベル2」に引き上げます。

サーベイランスに当たっては、平成26年9月4日に発出しました「野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の実施について」及びマニュアルに従い、地域の実情を踏まえつつ、監視体制の強化等について万全を期されるようお願いいたします。

担当：野生生物課鳥獣保護業務室 根上、山崎、菅原
電話03(5521)8285

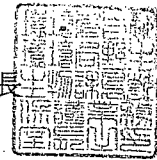




環自野発第 1409041 号
平成 26 年 9 月 4 日

各都道府県鳥獣行政担当部局長 殿

環境省自然環境局
野生生物課長



野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の実施について

平素より、自然環境行政の推進に御協力を賜り、感謝いたします。

さて、本年度につきましても、本格的に渡り鳥の飛来が始まる 10 月より、野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査を進めることとしております。

つきましては、平成 20 年度に作成し、平成 23 年 9 月に改訂を行った「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」（以下「対応技術マニュアル」という。）を踏まえ、以下の事項に関して、ご協力、徹底方よろしくお願い申し上げます。

また、別添のとおり農林水産省消費・安全局長から円滑な防疫対策の実施について協力依頼がありましたので、御了知の上、適切な対応につき、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 野鳥におけるサーベイランスの実施について

対応技術マニュアルに基づき、野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査を適切に実施すること。

2. 高病原性鳥インフルエンザ発生への備えについて

鳥インフルエンザ発生時には迅速な情報の伝達等が不可欠であることから、緊急時の連絡体制等について整備するとともに、発生時に備えた資機材の配備等について対応技術マニュアルに基づき再度確認すること。

3. 関係機関及び関係部局との連携について

対応技術マニュアルに基づく野鳥のサーベイランスは、関係機関の相互の役割分担のもと実施することから、地方環境事務所等との連携の他、各都道府県におかれても、家畜衛生担当部局や公衆衛生部局等関係部局との連携を密にし、実態を踏まえ適正な体制を構築すること。

4. 感染予防対策について

中国においては、鳥インフルエンザ A (H7N9) の人への感染が確認されている。当該ウイルスは野鳥から人へ感染した事例ではなく、また日本での発生は認められていないが、鳥インフルエンザウイルスは、濃厚な接触による人への感染事例も報告されていることから、調査の実施にあたっては、調査の準備と方法、消毒方法、野鳥との接し方等について、改めて対応技術マニュアル、通知類等の情報を関係者で共有し、人への感染、ウイルスの拡散等の防止について、適切な対応が図られるよう留意すること。

